

釧路都心部まちづくり計画 住民説明会の開催報告

1. 開催結果について

開催日	開催会場	開催時間	参加人数
7/21 (木)	中部地区コミュニティセンター コアかがやき	午後6:30 ～ 午後8:00	14名
7/26 (火)	東部地区コミュニティセンター コア大空		11名
8/ 2 (火)	阿寒町公民館		8名
8/ 4 (木)	まなぼつと幣舞		16名
8/ 9 (火)	音別町コミュニティセンター		6名
8/18 (木)	釧路市観光国際交流センター		27名
8/23 (火)	鳥取コミュニティセンター コア鳥取		16名
		合 計	98名 (74名)

※市長は、釧路地方総合開発促進期成会などの要望活動により、コアかがやき・コア大空の2会場については出席できなかった。

※参加人数はのべ人数である。今回の説明会では、本計画に興味を持つ熱心な市民が、複数の会場に参加した事例も見られた。なお()の数値は実人数である。

2. 説明内容について

- 別添資料に基づいて説明・・・
(報告事項1 説明資料2を参照)



3. 質問・意見等について (抜粋)

【都心部を「車優先から人と公共交通中心の空間に変える」計画に関する内容】

- 釧路駅の乗降客数（最盛期には数万人/日 2021年は約1,700人/日）を踏まえると駅を核に賑わいを生み出すことは難しいため、人を中心とするまちなかウォーカブル推進事業は考えなおした方が良くはないか。
- 今寂れている都心部に、わざわざ賑わいを持たせなくても、今賑わっているところをもっと賑わうようにしたらどうか。
- 釧路市民は車での移動が多いことから、バスの利用者は少ないのではないか。
- 今は郊外の大規模商業施設が賑わっていると思うが、この高架事業により、街の中心である北大通エリアや駅前が賑わうことを期待したい。

【社会基盤のあり方に関する内容】

- 北大通のフリースペースについて、冬季の利用方法も考えるべきである。
- 冬場の降雪や路面凍結の対策として、北大通の歩道にアーケードを設置したらどうか。
- 北大通と共栄大通をつなぐ道路は、L型の構造とすると交差点での交通事故発生リスクが高くなると思うがどうか。
- 土地区画整理で生み出される土地について、三角形の土地が複数あるが、もっと使いやすい形状にすべきではないか。
- 健常者だけではなく障がい者も使いやすい社会基盤整備を望むがどうか。
- 北大通に来た時に不便を感じるのが駐車場。使いやすい駐車場を設けるべき。

【本計画に対するJ R北海道の関わりについて】

- この計画におけるJ R北海道の費用負担はどれくらいか。また、J R北海道はこの計画についてどのような考え方を持っているのか。

【公共公益施設に関する内容】

- この計画の中で公共公益施設が何になるのかという点が大変重要になると思うが、現時点でのイメージがあれば聞きたい。

【その他】

- 大津波対策に最優先で取り組むべきである。
- 鉄道高架より先に、空きビルを何とかすべきである。
- 鉄道高架やハコモノ整備には反対。人口減少対策や若者の雇用、また特に福祉や介護、子育て支援などにお金を使い、市民への厚い対応を目に見える形でとってもらいたい。
- 花咲線・釧網線は廃止になるのではないか。そうであれば鉄道高架は必要ないと思う。
- この鉄道高架計画をいつまでも先送りすべきではない。これからの50年先を見据え、市長が中心となって勇気をもって鉄道高架を進めてもらいたい。
- このような説明会は、鉄道高架に反対する人が多く参加し、賛成する人は意見が言えず参加しないと思う。
- 正直に言って、鉄道高架には反対だったが、この説明会に何回か参加するうち、少なくとも跨線橋の老朽化の課題があり、やむなしと考えるようになった。